



安全データシート

Copyright, 2021, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	29-8287-4	版	1.02
発行日	2021/02/25	前発行日	2021/01/13

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体： 区分3

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性： 区分1

皮膚感作性物質： 区分1

GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル

炎 腐食性 感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H226

引火性液体及び蒸気。

H318 重篤な眼の損傷。
 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

注意書き

安全対策

P210A 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
 P240B 容器を接地しアースを取る。
 P242A 火花を発生させない工具を使用すること。
 P243A 静電気放電に対する措置を講ずること。
 P233 容器を密閉しておくこと。
 P241 防爆構造の照明、換気、電気装置を用いること。
 P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
 P280B 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

P303 + P361 + P353A 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
 P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 P310 直ちに医師に連絡すること。
 P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
 P362 + P364 汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
 P370 + P378G 火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

保管

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

胃腸への腐食のおそれ。 眼の損傷/刺激性区分は試験結果に基づいて割り当てられている。 皮膚の腐食/刺激性区分は試験データに基づいて実施し、この区分に該当しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
メタクリル酸 2-ヒドロキシエチル	868-77-9	15 - 25
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (B I S GMA)	1565-94-2	15 - 25
1, 10-デカンジオール、メタクリル酸及びピリン酸の反応生成物	1207736-18-2	10 - 20

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

エタノール	64-17-5	10 - 20
水	7732-18-5	10 - 15
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル) プロピルと石英ガラスの反応生成物	122334-95-6	7 - 13
アクリル酸・イタコン酸共重合体	25948-33-8	1 - 5
カンファーキノン	10373-78-1	< 2
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	< 2
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	< 1
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	0.01 - 0.5

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

飲み込んだ場合

口をゆすぐ。無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤

火災の場合：可燃性液体用の消火剤（粉末消火剤または炭酸ガスなど）を使用すること。

使ってはならない消火剤

情報なし。

特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

有害な分解物または副生成物

物質

ホルムアルデヒド
一酸化炭素
二酸化炭素

条件

燃焼中
燃焼中
燃焼中

刺激性蒸気あるいはガス
窒素酸化物

燃焼中
燃焼中

消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域より退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。アルコールやアセトンのような水溶性溶剤に適した泡消火薬剤で漏洩箇所を覆う。出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。金属製の容器に収納する。洗剤と水で残さを清浄にする。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

取り扱い時に直接触れない。皮膚に触れた場合には石鹼と水でよく洗う。含有するアクリレートは通常の手袋を透過する。本製品が手袋に触れた場合は手袋を廃棄し、直ちに手を石鹼で洗い、新しい手袋と交換する。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。静電気放電に対する予防措置を講ずること。この製品を使用する時には、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後は手指をよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。眼に入れない。

保管

換気の良い場所で保管する。涼しいところに置くこと。容器をしっかりと密閉しておくこと。熱から離して保管する。酸から離して保管する。酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
2, 6-ジ-tert-ブチル-p	128-37-0	ACGIH	TWA (吸入性分画および蒸)	A4: ヒト発がん性物質

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

ークレゾール			気) : 2mg/m3	として分類できない
エタノール	64-17-5	ACGIH	STEL : 1000 ppm	A3: 動物発がん性物質

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

ばく露防止策

設備対策

よく換気されたエリアで使用する。

保護具

眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。
サイドシールド付安全メガネ

皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

呼吸用保護具

特に必要としない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	粘性液体。
色	黄色
臭い	特異的な臭い
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>= 78 °C
引火点	30.5 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1 g/cm3 - 1.2 g/cm3
比重	1 - 1.2 [参照基準: 水=1]
溶解度	適用しない。

溶解度（水以外）	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	適用しない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 （JIS-GHSの要求項目ではない）	
モル重量	データはない。

ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

10. 安定性及び反応性

反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

化学的安定性

安定。

危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件

熱。

混触危険物質

知見はない。

危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

眼に入った場合

化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）：角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

皮膚に付着した場合

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

吸入した場合

人体への健康影響は考えられない。

飲み込んだ場合

胃腸への腐食作用：口、喉、腹部の激しい痛み、吐き気、むかつき、下痢、血便、嘔吐などの症状。

追加情報

この製品はエタノールを含有する。アルコール飲料およびそれらに含有するエタノールは、IARCの調査でヒトに発がん性があると報告されている。またアルコール飲料には発生毒性および肝毒性がある。本製品の通常使用においては発がん、発生毒性、肝毒性の発現は予想されない。

毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	経口摂取	ラット	LD50 5,564 mg/kg
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (BISGMA)	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (BISGMA)	経口摂取	ラット	LD50 > 11,700 mg/kg
エタノール	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,800 mg/kg
エタノール	吸入-蒸気 (4時間)	ラット	LC50 124.7 mg/l
エタノール	経口摂取	ラット	LD50 17,800 mg/kg
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びリン酸の反応生成物	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びリン酸の反応生成物	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
アクリル酸・イタコン酸共重合体	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

アクリル酸・イタコン酸共重合体	皮膚	類似健康有害性	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
カンファーキノン	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
カンファーキノン	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.436 mg/l
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	ラット	LD50 > 2,930 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	ウサギ	刺激性なし
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	ウサギ	わずかな刺激
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (BISGMA)	ウサギ	刺激性なし
エタノール	ウサギ	刺激性なし
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びリン酸の反応生成物	In vitro data	腐食性
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	ウサギ	刺激性なし
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	ウサギ	刺激性なし
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	ウサギ	腐食性
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	ヒト及び動物	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
製品全体	In vitro data	腐食性
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	ウサギ	中程度の刺激
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (BISGMA)	In vitro data	刺激性なし
エタノール	ウサギ	激しい刺激
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びリン酸の反応生成物	In vitro data	腐食性
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	ウサギ	刺激性なし
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	ウサギ	軽度の刺激
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	ウサギ	腐食性
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	ヒト及び動物	感作性あり
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (B I S G M A)	マウス	区分されない。
エタノール	ヒト	区分されない。
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びピリン酸の反応生成物	専門家による判断	感作性あり
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	ヒト及び動物	区分されない。
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	モルモット	感作性あり
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	ヒト	区分されない。

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	In vivo	変異原性なし
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (B I S G M A)	In vitro	変異原性なし
エタノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
エタノール	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びピリン酸の反応生成物	In vitro	変異原性なし
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	In vitro	変異原性なし
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	In vivo	変異原性なし
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	In vitro	変異原性なし
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
エタノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	49日
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
ビスフェノールAジグリシジルエーテ	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000	妊娠期間中

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

名称	経路	発生毒性	動物種	試験結果	試験期間
ルメタクリレート (B I S GMA)				mg/kg/day	
エタノール	吸入した場合	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 38 mg/l	妊娠期間中
エタノール	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 5,200 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 509 mg/kg/day	1 世代
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 497 mg/kg/day	1 世代
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/day	器官発生期
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	授乳期早期交配
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	43 日
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	授乳期早期交配
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	2 世代
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分されない	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	2 世代
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	発生毒性は区分されない	ラット	NOAEL 100 mg/kg/day	2 世代

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
エタノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	ヒト	LOAEL 9.4 mg/l	非該当
エタノール	吸入した場合	中枢神経系の抑制	区分されない。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
エタノール	経口摂取	中枢神経系の抑制	区分されない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg	
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びリン酸の反応生成物	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
アクリル酸・イタコン酸共重合体	経口摂取	神経系	区分されない。	ラット	NOAEL 5,000 mg/kg	
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (B I S GMA)	経口摂取	内分泌系 造血器系 肝臓 心臓 皮膚 消化管 骨、歯、爪及び又は毛髪 免疫システム 筋肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系 脈管系	区分されない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日
エタノール	吸入した場合	肝臓	陽性データはあるが、分類に	ウサギ	LOAEL 124	365 日

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

	場合		は不十分。		mg/l	
エタノール	吸入した場合	造血器系 免疫システム	区分されない。	ラット	NOAEL 25 mg/l	14 日
エタノール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 8,000 mg/kg/day	4 月
エタノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	イヌ	NOAEL 3,000 mg/kg/day	7 日
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	吸入した場合	呼吸器系 珪肺症	区分されない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
アクリル酸・イタコン酸共重合体	経口摂取	内分泌系 造血器系 肝臓	区分されない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	28 日
アクリル酸・イタコン酸共重合体	経口摂取	心臓 骨、歯、爪及び/又は毛髪 免疫システム 筋肉 神経系 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系 脈管系	区分されない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/day	28 日
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	吸入した場合	心臓 内分泌系 消化管 造血器系 肝臓 免疫システム 腎臓および膀胱 呼吸器系	区分されない。	ラット	NOAEL 1.6 mg/l	21 日
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	経口摂取	消化管 免疫システム 神経系 心臓 皮膚 内分泌系 骨、歯、爪及び/又は毛髪 造血器系 肝臓 筋肉 眼 腎臓および膀胱 呼吸器系 脈管系	区分されない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	13 週
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 250 mg/kg/day	28 日
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分されない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	2 世代
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	血液	区分されない。	ラット	LOAEL 420 mg/kg/day	40 日
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	内分泌系	区分されない。	ラット	NOAEL 25 mg/kg/day	2 世代
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	経口摂取	心臓	区分されない。	マウス	NOAEL 3,480 mg/kg/day	10 週

吸引性呼吸器有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことが

あります。 セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生毒性（急性）

GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生毒性（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	ファットヘッド ミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	227 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	710 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	380 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	160 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	24.1 mg/l
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート（BISGMA）	1565-94-2		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びリン酸の反応生成物	1207736-18-2		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
エタノール	64-17-5	ファットヘッド ミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	14,200 mg/l
エタノール	64-17-5	魚（その他）	実験	96 時間	LC50	11,000 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	275 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	5,012 mg/l
エタノール	64-17-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	11.5 mg/l
エタノール	64-17-5	ミジンコ	実験	10 日	NOEC	9.6 mg/l
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	122334-95-6	液状化	推定値	3 時間	NOEC	>=1,000 mg/l
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	122334-95-6		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
アクリル酸・イタコン酸共重合体	25948-33-8		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
カンファーキノン	10373-78-1		分類にデータが利用できない、あるいは不足している。			N/A
4-ジメチルアミノ安息香	10287-53-3	液状化	実験	3 時間	EC50	>1,000 mg/l

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーズィブ

酸エチル						
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	2.8 mg/l
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	ニジマス	実験	96 時間	LC50	1.9 mg/l
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	4.5 mg/l
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.71 mg/l
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	バクテリア	実験	18 時間	EC10	42.7 mg/l
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	69.7 mg/l
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	メダカ	実験	96 時間	LC50	19 mg/l
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	33 mg/l
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	32 mg/l
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	4.35 mg/l
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	液状化	実験	3 時間	EC50	>10,000 mg/l
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>0.4 mg/l
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.48 mg/l
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間		水への溶解限界において毒性は見られない >100 mg/l
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	緑藻類	実験	72 時間	EC10	0.4 mg/l
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	メダカ	実験	42 日	NOEC	0.053 mg/l
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.023 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	95 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (BISGMA)	1565-94-2	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	32 重量%	OECD 301C-MITI (1)
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びリン酸の反応生成物	1207736-18-2	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	91 重量%	OECD 301C-MITI (1)
エタノール	64-17-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	89 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	122334-95-6	データ不足			N/A	
アクリル酸・イタコン酸共重合体	25948-33-8	データ不足			N/A	
カンファーキノン	10373-78-1	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	20.6 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	40 CO2発生量/理論CO2	OECD 301B - 修正シュトルム試験又は二酸化炭素

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

					発生量%	
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	推定値 光分解		光分解半減期 (空气中)	3.88 時間 (t 1/2)	非標準的な手法
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	実験 加水分解		加水半減期	4.5 日 (t 1/2)	非標準的な手法
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	実験 生分解性	28 日	DOC (溶存有機炭素) 残留量	95.3 重量%	OECD 301E - 修正OECDスクリーニング試験
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	データ不足			N/A	

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
メタクリル酸2-ヒドロキシエチル	868-77-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	0.42	非標準的な手法
ビスフェノールAジグリシジルエーテルメタクリレート (BISGMA)	1565-94-2	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	5.8	推定値：生態濃縮係数
1,10-デカンジオール、メタクリル酸及びリン酸の反応生成物	1207736-18-2	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	4.5	非標準的な手法
エタノール	64-17-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	-0.35	非標準的な手法
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと石英ガラスの反応生成物	122334-95-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
アクリル酸・イタコン酸共重合体	25948-33-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし。	該当なし。	該当なし。	該当なし。
カンファーキノン	10373-78-1	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	7.1	推定値：生態濃縮係数
4-ジメチルアミノ安息香酸エチル	10287-53-3	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	3.2	非標準的な手法
メタクリル酸ジメチルアミノエチル	2867-47-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	1.13	非標準的な手法
2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレゾール	128-37-0	実験 BCF-Carp	56 日	生物濃縮係数	1277	OECD 305E- 生態濃縮 魚類

土壌中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 1133 接着剤

輸送分類 (IMO) : 3 引火性液体

輸送分類 (IATA) : 3 引火性液体

容器等級 : III

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法 : 施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物
 労働安全衛生法 : 施行令 18 条有害物質 (表示物質)
 労働基準法に基づく「感作性」化学物質 : 労働省労働基準局通達 基準第 182 号の 2
 消防法 : 第四類第二石油類
 船舶安全法、航空法 : 引火性液体類

主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法 (表示・通知)	化管法	毒劇法
2, 6-ジ-tert-ブチル-p- クレゾール	262 (2, 6-ジ-tert-ブチル-p-クレ ゾール)	該当なし。	該当なし。
エタノール	61 (エタノール)	該当なし。	該当なし。

16. その他の情報

改訂情報

セクション 1 : 担当部門の電話番号 情報修正.
 セクション 2 : ラベル要素の追加GHS情報 情報修正.
 セクション 1 2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
 セクション 1 2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.

免責事項 : この安全データシート の情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシート の記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません、本安全データシート の記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3M ジャパングループの SDS は日本のウェブサイトから入手できます。